

平成26年 1月27日
No.2014-03_変更

HbA1c(JDS値)の報告書への表記終了のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年3月のインフォメーションでお知らせいたしましたとおり、平成24年10月24日、日本糖尿病学会からJDS値の表記について下記のとおり方針が示されております。

【基本方針】

平成25年4月1日をもって、日常臨床・健診等全ての分野で、NGSP値の使用がなされることから、NGSP値単独表記・使用を推進する。

平成26年4月1日以降、我が国において使用されるHbA1cの表記はすべてNGSP値のみとする。
日常臨床等におけるJDS値の併記は原則として同日以降行わない。

これを受け、当検査センターにおいても、平成25年度は移行期間として報告書へJDS値とNGSP値の両方を記載しておりましたが、**平成26年4月1日からは、NGSP値のみのご報告とさせていただきます。**先生方には大変ご迷惑をおかけすることと存じますが、よろしくお願い申し上げます。

敬白

記

◆実施日 平成26年4月1日(火) ご依頼分より

◆変更内容 総合報告書・患者渡報告書のHbA1c(JDS値)の記載終了

【総合報告書】

【患者渡し用報告書】



裏面参照

これまでの経緯と今後の対応

1) 『HbA1c報告値併記について(ご案内)』

平成24年3月12日発行インフォメーション

換算式、基準値、報告書の併記位置をお知らせしています

2) 『HbA1c報告書表記位置の変更のお知らせ』

平成25年3月11日発行インフォメーション

<p>○換算式</p> $\text{NGSP値(\%)} = 1.02 \times \text{JDS値(\%)} + 0.25\%$ $\text{JDS値(\%)} = 0.980 \times \text{NGSP値(\%)} - 0.245\%$ <p>実際に計算すると</p> <table><tr><td>JDS値で4.9%以下</td><td>:</td><td>NGSP値(\%)=JDS値(\%) + 0.3%</td></tr><tr><td>JDS値で5.0~9.9%</td><td>:</td><td>NGSP値(\%)=JDS値(\%) + 0.4%</td></tr><tr><td>JDS値で10.0~14.9%</td><td>:</td><td>NGSP値(\%)=JDS値(\%) + 0.5%</td></tr></table>	JDS値で4.9%以下	:	NGSP値(\%)=JDS値(\%) + 0.3%	JDS値で5.0~9.9%	:	NGSP値(\%)=JDS値(\%) + 0.4%	JDS値で10.0~14.9%	:	NGSP値(\%)=JDS値(\%) + 0.5%
JDS値で4.9%以下	:	NGSP値(\%)=JDS値(\%) + 0.3%							
JDS値で5.0~9.9%	:	NGSP値(\%)=JDS値(\%) + 0.4%							
JDS値で10.0~14.9%	:	NGSP値(\%)=JDS値(\%) + 0.5%							
<p>○基準値</p> <p>NGSP値 4.6~6.2% (6.5%以上を糖尿病型とする) JDS値 4.3~5.8% (6.1%以上を糖尿病型とする)</p>									
<p>○特定健診・保健指導</p> <p>平成24年4月1日~平成25年3月31日の期間は、受診者への結果通知および保険者への結果報告のいずれも、従来通りJDS値のみを用いる。平成25年4月1日以降の取り扱いについては、関係者間で協議し検討する。</p>									

検査センターインフォメーション 平成24年3月12日号より抜粋

平成25年4月より平成26年4月からのNGSP値単独表記移行期間として、報告書表記位置(JDS値とNGSP値)を変更して報告してきました。

3) 『HbA1c(JDS値)報告書への表記終了のお知らせ』

平成26年1月発行 (今号)

平成26年4月1日より報告書の表記をNGSP値のみとします。

(JDS値の表記はいたしません。)